



12月ピックアップだより



月	火	水	木	金	土
1 ルール活動 	2 ルール活動 	3 丁寧なことばを 使おう 	4 丁寧なことばを 使おう 	5 丁寧なことばを 使おう 	6 丁寧なことばを 使おう 
8 丁寧なことばを 使おう 	9 丁寧なことばを 使おう 	10 気持ちを切り替え る方法を知ろう 	11 気持ちを切り替え る方法を知ろう 	12 気持ちを切り替え る方法を知ろう 	13 買い物活動 
15 気持ちを切り替え る方法を知ろう 	16 気持ちを切り替え る方法を知ろう 	17 今年頑張ったこと を発表しよう 	18 今年頑張ったこと を発表しよう 	19 今年頑張ったこと を発表しよう 	20 今年頑張ったこと を発表しよう 
22 今年頑張ったこと を発表しよう 	23 今年頑張ったこと を発表しよう 	24 クリスマス制作 	25 クリスマス会を しよう 	26 ドーナツを作ろう 	27 今年頑張ったこと を発表しよう 
29 年末大掃除を しよう 	30 休み (冬期休暇)	31 休み (冬期休暇)	中学生の活動 12/13 : 買い物活動 12/27 : クリスマスケーキを作ろう		

※専門職の来所予定日

公認心理師(松本): 1日(月)、16日(火)

言語聴覚士(永山): 2日(火)、4日(木)、8日(月)、10日(水)、19日(金)、23日(火)、27日(土)

理学療法士(樋口): 3日(水)、12日(金)、22日(月)、29日(月)

作業療法士(大平): 5日(金)、9日(火)、15日(月)、25日(木)、26日(金)



今月の主な活動

丁寧なことばを使おう : さまざまな人や場面に合わせたことばの使い方を確認します。また、相手の視点に立ちながら分かりやすい伝え方を考え、実践します。

気持ちを切り替える方法を知ろう: 思い通りにならないことや意に添わないこと等、場面を想定しながらその場でできる対処法について話し合い、ロールプレイを通して気持ちに折り合いをつける力を高めます。

今年頑張ったことを発表しよう : 自分の良いところ、頑張ったことを発表することで、自分自身を肯定的に表現し、自己肯定感を育みます。また、相手の話を上手に聴くことに繋がるよう、相手を見る、最後まで聞く、頷く等具体的な姿勢を確認します。



★お知らせとお願い★

・提出書類につきましては、保護者の方より職員へ直接お渡しください。

登園時間は、平日 16 時 20 分まで、土曜日(午前) 10 時～10 時 20 分まで、(午後) 13 時 30 分～13 時 50 分までをお願いします。

・お迎えは、平日 17 時 20 分～18 時 00 分の間、土曜日(午前) 11 時 50 分～12 時 10 分の間、(午後) 15 時 20 分～15 時 40 分の間でお願い致します。

・長期休暇中の登園時間は、平日(午前) 10 時 00 分まで、(午後) 15 時 00 分まで、土曜日(午前) 10 時 20 分まで、(午後) 13 時 50 分までをお願いします。

・お迎えは、平日 16 時 45 分～17 時 30 分の間、土曜日(午前) 11 時 50 分～12 時 10 分の間、(午後) 15 時 20 分～15 時 40 分の間でお願い致します。

・12/29(月)につきましては、17時までとさせていただきます。17時までのお迎えをお願いします。

[キャンセル待ちについて]

・キャンセル待ちの受け入れの連絡は、平日は当日の午前中まで、土曜日は前日までにトリアより連絡をさせていただきます。連絡がない場合は受け入れが難しい為、ご了承ください。

[欠席連絡について]

・平日は 16 時以降、土曜日(午前) 当日 9 時 30 分以降、(午後) 13 時以降の欠席連絡となりますと、おやつ代(¥70/日)をご負担頂きますので、ご了承ください。当日のキャンセル連絡はコドモンではなく、お電話で連絡下さい。また、職員不在の際は、留守番電話にメッセージを残しておいてください。

※都合により、活動内容が変更になる場合は、入口掲示板にてご案内致します。



こんにちは。今年は秋の始まりが遅かったですね。皆さん紅葉やおいしい果物など楽しめたでしょうか。

今回のコラムはこどもと接する時の表情の大切さについてのお話です。表情は大切なコミュニケーション方法の一つであり、私たちは日々のコミュニケーションの中でことば以上に相手の表情から相手の気持ちやその日の調子などを読み取っていると思います。

生まれたばかりの赤ちゃんが一番見つめるのは人の顔だそうです。赤ちゃんは顔が好きで、とりわけ笑顔が大好きだということがわかっています。生後間もない頃から大人の顔を見つめ、模倣することを覚え、親子でにっこりと顔を見合わせる姿はお互いの間に温かいものが流れるのを感じます。最初は意味がわからなくても、日々繰り返される単純な模倣のやり取りを通して、相手の顔の動きから表情を理解する力が促され、目、口もとなど細かい顔の部分の認知・理解に広がっていきます。表情のやり取りが相手への関心、相手の気持ちの理解、安心感につながり、こども自身からの意図的な発信を育て、コミュニケーション意欲を育てていきます。また口もとの動きへの注目は、ことばへの興味・関心やことばの聞き取りにもかかわっていきます。大人が笑顔の口もとから発するあたたかい声やことばはこどもの注目を引きだし、こどもが大人の口もとに手を伸ばす行動も見られます。コロナ下ではこどもが他者の表情を見る機会が減り、細かな表情の理解、発信の育ちにも制限があったと言われています。また発達上の特性により、相手の顔や目を見ることが苦手なこどももいます。こどもたちが表情と情緒の豊かさを学べるよう支援するとともに、私自身も自分の表情に意識を向け、表情によって声の調子が変わり、こどもへの伝わり方が変わることを理解し、笑顔でこどもと接する時間を増やしたいと考えています。みなさんも時々鏡の前で自分に笑いかけ、リラックスしてみてもいいかもしれません。



言語聴覚士
永山理香

